

緑の宝



2010
夏号
No.51



静岡 新聞放送会館と壁面緑化モデル施設(2階)

目 次

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 会長挨拶 | P2 |
| 環境局長挨拶 | P3 |
| 第31回造園緑化協会通常総会 | P4 |
| 優秀施工者国土交通大臣顕彰 | P5 |
| 建産連会長表彰 | P5 |
| 委員会だより(技術委員会) 街の緑に新たな提案 その効果を探る | P6 |
| 委員会だより(耕作労働委員会) 平成22年度現場安全研修会に参加して | P8 |
| 支部だより(東部支部) 庭園づくりに新しい息吹を | P8 |
| 支部だより(中部支部) 高校生の造園インターンシップ | P9 |
| みどりのおたより 街に彩りを添える「花の会」の活動(環境政策課) | P11 |
| みどりのおたより オーブンガーデン講座開催(みかん園芸課) | P11 |
| 全国育樹祭大会テーマ募集(森林計画課) | P12 |
| 農業参入と耕作放棄地の活用(農業振興課) | P12 |
| 愛媛広域公園ひとー鉢運動(公園緑地課) | P13 |
| 環境省「公園-街路樹等病害虫雜草管理マニュアル」改訂 | P13 |
| 景観整備機構コーナー | P14 |
| 技士会だより 総会開催 | P14 |
| 建産連会長表彰 | P14 |
| お知らせ 公益社団法人移行手続きスケジュール | P15 |
| 事務所の移転 | P15 |
| 協会日誌 | P15 |
| 話題の森 森の力再生事業(森林計画課) | P16 |

会長挨拶



(社)静岡県造園緑化協会会長

片桐 利男

長くうつとうしい梅雨空が明けたと喜んだのもつかの間、本格的な夏空となつて毎年の時季とはいへ、連日の猛暑に辟易とする日々が続く此の頃であります。

今年度は役員改選年に当り、先の通常総会におきまして、皆様方のご推挙により再々度会長職の大任を仰せつかりました。拝命致しました上は、誠に非力ではあります、この多事多難な折、新役員共々その職責を全うすべく傾注して参る所存でありますので、皆様方には変わらぬご支援とご協力を切望するものであります。

長い間言われ続けて参りました業界を取り巻く厳しい環境は、昨年の政権交代による変化の期待も目に見えてはおらず、依然として業績は低迷し続いているのが現状であろうかと思われます。しかし、我々は緑を守り作り出す自然環境の保全と都市緑化の推進という緑化の法人に課せられた任務があります。この責務を果たすべく今後もいかなる困難にも立ち向かつて進んで参りたいものであります。

今年南アフリカで開催されましたサッカーのW杯大会で日本代表の大健闘は多くの人に感動を与えてくれました。団体競技は個人技も勿論大切ですが、「一番大事なことは「チームプレー」である」と思います。素晴らしいチームワークによって個々の技を生み出した日本代表チームの活躍に惜しみない拍手を贈ろうと思います。

我々もこの「サッカー」日本代表を見習い、個々の技は弱くても素晴らしいチームワークで「チーム県造園」としてチームプレーに徹し團結して業界の発展と繁栄のために努力を重ねて参りたいものであります。●

さて、今年の四月に宮崎県内で異常に発生致しました家畜の伝染病「口蹄疫」のために何十万頭もの牛や豚が殺処分処理設されるという痛ましい事態になりました。我々造園業界も家畜とは密接な関係があり、家畜の排せつ物は植物の活性堆肥として多用されており無関心ではいられず、畜産農家の皆さんとの心痛を思う時、一日も早い畜産をはじめとする地域経済の復興を願うものであります。

環境局長挨拶



静岡県くらし環境部
環境局長

石野 功

社団法人静岡県造園緑化協会会員の皆様におかれましては、日ごろから緑豊かな住みよい県土づくりや緑化技術の発信など本県の環境緑化行政の推進に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、都市の緑には、やすらぎと潤いの提供、美しい景観の形成、気温上昇の抑制など様々な効果があり、近年では、建物の屋上や壁面を緑化すること等への関心も高まっています。

こうした中、昨年度、貴協会では、これまで検討を重ねられてきた技術を活かし、静岡市内の静岡新聞放送会館の壁面を独自の自立型の緑化工法で整備されました。今後も、定期的に建物や周辺の環境に与える影響を調査し、より良い工法の開発を進めることで、壁面緑化の普及に努めていく予定であると伺っております。

こうした、貴協会の地域に根付いた継続的な取組に敬意を表するとともに、本県の緑あふれる生活環境の創造に引き続き御協力いただき、ますようお願い申し上げます。

県におきましては、「富國有徳の理想郷、ふじのくに」づくりを推進しており、特に、環境の分野においては持続可能な社会の構築に向けており、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」を実現するための施策を統合的に実施しているところであります。

この一環として、本年度、緑あふれるやすらぎと潤いのある生活環境の保全・創造と草花を育てるやさしい心を持つた人づくりを通じて、自然と調和した持続可能な社会、ふじのくにの実現を目指す「(仮称)ふじのくに花と緑の街づくり計画」の策定を進めております。

計画策定に当たりましては、緑化関係団体や県民と連携し、多くの県民が利用する公共的な空間の緑化や維持管理を推進する施策を、貴協会にも御参加いただき検討を行っているところであります。

こうした計画の施策を展開し、緑豊かな県土づくりを推進していくためには、専門技術を備えた貴協会のお力添えが必要でありますので、会員の皆様方におかれましては、今後とも御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに当たり、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。●

第三十一回造園緑化協会通常総会

～新たな体制、片桐会長再選～

四月二十八日、静岡県造園緑化協会は、静岡市葵区紺屋町のクアーポール会館で第三十一回通常総会を開催した。

総会は櫻井淳副会長による開会のことばで始まり、片桐利男会長は厳しい状況下、嘆いていました。仕方がない、皆さんのお知恵と力を借りし、また我慢もしながら、協会員が誇りを持てるよう、今は特にソフト面

で頑張つて難局を打開しよう」と呼びかけた。

次に、これまで職務上顕著な功績があり、他の模範となる会員や会員の代表者並びに会員の従業員に対し協会会長から表彰状の授与と記念品が贈呈された。(別掲載)

当日は、協会顧問、県、市、各種団体から14名の方々に来賓として出席をいただき、顧問を代表して浜井卓夫様からは「平成17年の緑化推進法の制定、環境の世紀或いはCO₂の削減などと大きな枠の中では業界にとって追い風になったはずが、世界的な景気の後退といふことで如何とも仕方がない状況にあり、現在景気を立て直すことが一番のポイントとなっている。こうした時こそ、みんなで知恵を出し、力を合わせて苦境を乗り切って欲しい。またこ



左から 紅林造園・大村造園建設(株)



左から 伊丹隆信氏 山崎和雄氏 倉場慎也氏



浜井卓夫前静岡県議会議長



その後、片桐会長を議長に選出し議事に入った。第一号議案「平成21年度事業報告書及記念品が贈呈され小林昌一副会長が閉会を宣言して総会を閉じた。」

書(案)等承認の件」、第三号議案「平成22年度入会金及び年会費の額並びに納入時期及び納入方法決定の件」、第四号議案「公益社団法人移行承認の件、第五号議案役員選任の件及び附帯議案を慎重に審議の結果、いずれも原案通り承認決議された。

最後に、新役員が紹介される

長様からは、最初に、当協会のこれまでの環境緑化への貢献に感謝の言葉があり、「今後、公共的空間の環境緑化をめざす「ふじのくに花と緑の街づくり計画」(仮称)を策定することとしているが、計画策定や事業の促進には関係機関・県民との連携が不可欠であり、卓越した技術、人材を有する当協会にはこの連携の核として期待する」との

新役員

| | | | | | |
|--------|-------|-------|---------|---------|--------|
| 監事(中部) | 事(東部) | 事(東部) | 副会長(西部) | 副会長(中部) | 会長(西部) |
| 事(東部) | 事(中部) | 事(中部) | 事(中部) | 事(中部) | 事(中部) |
| 事(西部) | 事(西部) | 事(西部) | 事(西部) | 事(西部) | 事(西部) |
| 新任 | 新任 | 新任 | 新任 | 新任 | 新任 |
| 新任 | 新任 | 新任 | 新任 | 新任 | 新任 |
| 大井利男 | 川崎順二 | 内田直義 | 藤波義之 | 鈴木正幸 | 半田健治 |
| 小林召三 | 中島公望 | 増田仁 | 西野一元 | 熊崎実 | 櫻井淳 |
| 山崎麗 | 大井公望 | 内田直義 | 澤井義之 | 高林久雄 | 立木片桐 |



新役員の紹介



石野功環境局長

建産連会長表彰

平成22年5月27日、東京都港区のメリバ
ルクホールにおいて「優秀施工者国土交通
大臣顕彰式」が行われ、会員の有隣香裕
(沼津市の鈴木勉氏が国土交通大臣から
建設技能者のトップの称号「建設マスター」
として顕彰された。
今後のさらなる研さんと造園業発展への
貢献が期待される。●



市川 明広氏



上野伸司
株式会社

(社)静岡県建設産業団体連合会会長表彰

5月31日、静岡市葵区内の「産業経済会館」で開催された平成22年度静岡県建設業協会通常総会の席上、建産連会長から当協会員2名に表彰状が授与された。市川明広氏(市川造園株)は造園技術の向上指導や後継者の育成に努めたほか、従業員の安全確保や労務・厚生の改善に努め従業員の労働意欲の増進をもたらした。また、上野伸司氏(株共立)は永年に亘り確かな技術に裏打ちしながら、技術向上に尽力したほか、技術向上に精励し果たした功



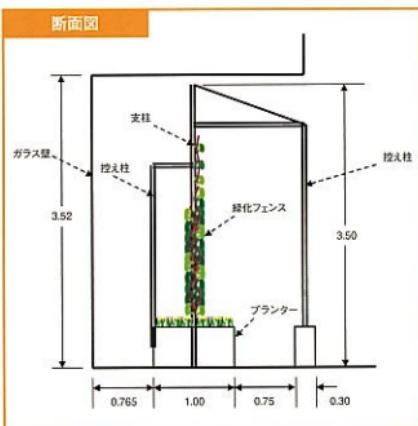
鈴木妙氏 (有)緑香苑

國交大臣顯彰

鈴木勉氏 優秀施工者 国土交通大臣顕彰



技術委員会では、21年度、財静岡県グリーンバンクの全面的なご支援と㈱静岡新聞社・静岡放送㈱のご協力をいただき、「静岡 新聞放送会館」の2階テラスのガラス壁面に壁面緑化のモデル施設を建設しました。



このモデル施設は、都市地域等の限られた空間で、地球温暖化防止、省エネルギーに貢献し、潤いのある生活環境をつくる「壁面緑化」への理解と普及を図るとともによりよい技術の確立、開発を進めるため整備したものです。

主な特徴は、建物構造に依存せず風速32m/Sにも耐えられるよう設計された自立型の緑化フェンスであり、灌水はコントローラー(雨水感知式)の制御による自動灌水をしていることです。

ただ、モデル施設のため、価格は高めとなっており、普及に向けては価格低減が今後の課題と考えています。

施設概要

壁面方位 南西

壁面規模 延長16.0m 高さ3.5m

壁面緑化面積 56.0m²

植栽基盤 EPSプランター4基、格子枠プランター4基を交互に連結

植栽客土 4種の配合客土

緑化フェンス 螺旋パネル2種4基、メッシュパネル4基を配列

植栽植物 つる性苗4種400本、地被苗10種592本

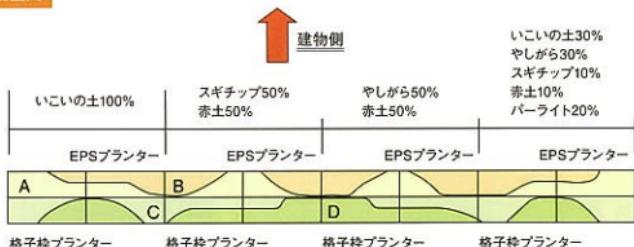


格子枠プランター



EPSプランター

客土区割・植栽配置図



- A 地被類 ベニシダ、オタフクナンテン 蔓性植物 ヘデラカナリーエンシス、カラライナジャスミン、ピクノニアカベオラーク
- B 地被類 ヤブコウジ、ツワブキ 蔓性植物 同上
- C 地被類 ヒペリカムヒデコート、ラベンダーストエカス、コバノランタナ
蔓性植物 ヘデラカナリーエンシス、モッコウバラ、カラライナジャスミン、ピクノニアカベオラーク
- D 地被類 ハツユキカズラ、ヘメロカリスステラ、デ・オロ、ローズマリー、プロストラータス
蔓性植物 Cと同じ(ヘデラカナリーエンシス、モッコウバラ、カラライナジャスミン、ピクノニアカベオラーク)



委員会観察



委員会の調査内容検討

技術委員会では、平成22年6月29日、第2回の委員会を「静岡 新聞放送会館」で行い、管理状況を確認するとともに、このモデル施設の普及、啓発を効果的に進めるために、緑化による効果影響調査の内容として、今年度は緑化面の表裏並びに緑化面のないところの温湿度調査、部材表面温度調査、植物の生育調査及び建物利用者の感想調査を行うことに決定しました。

このモデル施設は、平成27年3月まで設置、活用する計画であり、当協会としても、データ収集に並行し、緑化促進の啓発、普及にも積極的に活用していく計画で、8月には会員をはじめ関係の皆様にまずは見学していただく機会を設けていきたいと考えています。

委員会だより（啓発労働委員会）

平成二十一年度現場安全研修会に参加して

毎年この時期に建設業労働災害防止協会が主催の現場安全研修会が開催されます。

当造園緑化協会もこの協会

の会員でありますので安全指導者と安全推進員に参加の通知が来ます。今回の研修会に私は

安全指導者（啓発労働委員長）として参加させていただきました。

開催場所は、御殿場市民交

流センター「ふじざくら」です。

まだ最近できたばかりの施設で

ですが、シルバー人材センターいや市民活動交流センター、子育て支援施設等も一緒に入っている素晴らしい施設です。

まず安全講和を（静岡労働局

安全衛生課 農業安全専門官芹澤幸行様に労働災害発生状況

のパンフレット等を参考にお話を頂きました。また、富士山交

流センターの建設工事についての概要説明及び安全対策について

御殿場市企画部市民協働

課交流施設スタッフ 統括田代明人様に伺いました。事業費

は二十六億円ほどで防衛省が十五億、現場の財産区が八億、

御殿場市が三億負担して作って

いるそうです。又その後の維持費

も財産区が負担して運営でい

くことになります。全国の基

地演習場のある地域でこのよう

な施設が補助金として作られて

いるようです。富士山交流セン



富士山交流センター現場入口

た。現場には溶岩樹形があちらこちらにあり、保存しながらの造成のようでした。この現場には大島造園土木様も施工中でボット型洋芝植え方式で芝生の植栽作業でした。本格的な植栽はまだこれから作業を行わなければいけないと感じたことです。来年の完成まで事故のないよう安全に作業が進むことを祈念しております。

安全指導者 渡井清視

支部だより（東部支部）

庭園づくりに新しい息吹を ～富士常葉大学学生とワークショップ～



山田辰美富士常葉大学教授の講義風景

昨年は静岡の清掃工場でしたかこのように大きなプロジェクトの現場の安全対策を見て造園としては小さい現場が多いのかかもしれませんが安全に対しは同じように引き締めて対策を行わなければいけないと感じました。来年はどうなたか参加してみませんか？

東部支部では、平成19年度から庭園づくりのワークショップを行っており、平成22年2月の会社を代表して（岳南建設株）現場所長の芹澤茂範様）から説明を受け、その後車で建設現場まで移動しました。しかし生憎の雨の為、傘をさしての現場内研修となりました。施設はまだ骨組みが出来たところまでです。別棟のドームテント型の屋外ステージは出来ていたのですが、その下に入つて説明を受けま

した。このワークショップは、学生とともに庭園づくりを議論し提案をまとめていくもので、今回の素材は、自然との共生を計画理念として富士山を借景とする、富士山南陵工業団地の一角の森に併む「富士山環境交流プラザ」周辺地域としてテーマは「新しい空間演出の提案」とした。最初に、ブ

ラザ会議室で講師の山田辰美富士常葉大学教授から「日本庭

園とビオトープ」と題し、この建物や周辺の自然の状況なども含めて講義を受けた。その後会員、学生が5班に分かれ周辺を歩きそれぞれが考えを巡らせ、富士山常葉大学へ行って、班ごとに提案をまとめ、発表を行つてこのワークショップを終えた。

今回の会員参加は12名、学生6名の全部で18名であった。今回の中間報告では、内閣が提出した「環境省の取り組みは景観・造形と生態学のコラボレーションであり、これまでにない考え方、異なる考え方を、すぐ難い、おかしいと判断してしまいがちだが地域の自然の保護、生物多様性の保全が叫ばれる昨今、我々の業界も新しい風を入れることも必要ではないか」と考えさせられた。



富士山環境交流プラザ視察と検討



つつじの移植作業

支部だより（中部支部）

高校生の造園インターインシップ

（県立静岡農業高等学校）

（2年4組 牧野翔太）

学校でやっている造園では内容が全く違っていた。つづじを移植する際には、注意点が多く樹木も生きているということが実感した。また、灌水作業でも、水をやるだけでもいろいろ決まりごとがあつて、大変驚いた。



二脚鳥居支柱の撤去

これからは、もっと努力し直すに近づけるようにしたい。

二脚鳥居支柱の撤去では、ずっとノコギリで木を切つていたので、腕が非常に疲れた。また、支柱の処分や土の処分だったので、造園の会社に入らないと行けないような所で処分したので貴重な体験ができた。4日間を通じて、プロの人たちとの経験の差を大変感じた。穴づ掻るだけでも自分たちと全く違っていた。



駿府公園の花壇の整備作業

とすでに出発する準備をしていて始業時刻より早く来ることが大切だと思いました。あいさつをする返事を返してくれたりしたので、あいさつをしていて気持ちがよかったです。

4日間ほど外で作業をして寒かつたが集中して取り組むことができてよかったです。社長さんから早く出勤します。社長さんから印象がよくなると教えていただきました。インターインシップで造園という仕事や社員の仕事に対する取り組み方、これから何をしていくばら良いかななど進路を決めるに



松枯れ防止薬の注入作業

最初、造園会社というのは本々の剪定や竹垣を作つたりしていると思っていました。しかし、実際は公園の整備などを行つており造園の仕事の幅の広さを知ることができました。事業の報告書は全部パソコンでまとめていたりして、これからはパソコンが使えないといけないと改めて知ることができました。事務所に着く

とすでに出発する準備をしていて始業時刻より早く来ることが大切だと思いました。あいさつをする返事を返してくれたりしたので、あいさつをしていて気持ちがよかったです。

4日間ほど外で作業をして寒かつたが集中して取り組むことができてよかったです。社長さんから印象がよくなると教えていただきました。インターインシップで造園という仕事や社員の仕事に対する取り組み方、これから何をしていくばら良いかななど進路を決めるに

当つて良いことを知ることがで
きました。

〈2年3組 市川千裕〉



安倍川緑地の花壇の土づくり作業

私は造園の仕事がどういう
事をするのかを知りました。
CADとか測量を教えていた
だき難しいなあと思いました。
私はふだんの学校生活も大変
ですが、4日間働いて、仕事つ
て大変だなと実感しました。
芝をはこんだり、肥料まぜな
ど力仕事が多くてピックリし
ました。剪定は学校でも習った
のにあまりよく理解していな
かったと気づきました。これから
の授業をしっかりと聞き勉強
を深めたいと思います。

また、私は声が小さかつたの
で、これからは、あいさつも会
話も大きな声ではつきりとしや
べりたいです。



安倍川緑地の花壇での低木植栽作業

〈2年4組 鈴木麻理奈〉



磐田の研究所で芝の話を聞いているところ

今回のインターンシップで
は、普段出来ない実習など貴
重な経験になりました。特に、
磐田の研究所での芝の話、ナビ
コガネ虫の観察、センチュウの
顕微鏡での観察が大変勉強に
なりました。浜名湖ガーデンパーク
パークでは誘引作業をしながら、
花が咲く時期に見に行きました。
また、私は声が小さかつたの
で、これからは、あいさつも会
話も大きな声ではつきりとしや
べりたいです。

ADは、初めてやりましたが、
ていねいに教えていただきや
りとげることが出来ました。
今回の実習を通して社会での
仕事の重要さと厳しさを学ぶ
ことができました。学んだこと
を進路につなげたいです。

〈2年3組 前澤瑞城〉



松への薬の注入作業

最初は何をすればいいか分
からなかつたので、空アンプル
を回収するのを手伝いながら
どんな事をしているのかを見
る事から始めた。2日目以降
は教えてもらいつつ、薬をボト
ルに入れたり、ゆ合剤で樹皮
に空いた穴をふさぐ作業を手
伝つた。2日目の途中から使う
薬が変わつたので、薬の準備を
合わせて行つた。3日目は使い
終わつたダンボールをリサイ
クルするためまとめる事も
やつた。4日目のやすらぎの森
ではビオトープの見学をして、
トンボやアマゴなど里山の自
然を保護する話を聞いて、午
後より剪定を行つた。特にモチ
ノキはとても剪定しやすい木
だつた。コツが分かつた。



モチノキの剪定作業

街に彩りを添える「花の会」の活動

県前や公園などの花壇が美しく手入れされ花で彩られるることは、訪れる人々にやすらぎやうるおいを与えます。こうした花壇では、「花の会」などの地域の緑化ボランティア団体が活動されています。

花の会の皆様は花が好きで、美しい咲く花や訪れる人の笑顔、ふれあいなどを楽しみに、夏の暑さ、冬の寒さにも負けず地道な活動を続けています。

こうした地域での長年にわたる緑化活動が認められ、本年度は島田市花の会会長の鈴木りゑ氏が環境大臣賞を受賞しました。

鈴木りゑ氏は、五十余年にわたる地域緑化の推進や同会の会長として卓越した知識と指導力をもつて多くの後輩を育成したことなどが高く評価されました。

このように、「花の会」の取組が評価されたことは、県下の「花の会」においても大変励みになります。



環境大臣賞受賞
(島田市花の会 鈴木りゑ会長)

★問合せ先 静岡県環境政策課
★電話〇五四二二一八四九
★ホームページ
<http://www.greengbank.or.jp/volunteer/flower/hanashoai.html>

花と緑があふれた美しい静岡県づくりを推進する「花咲く会連合会」は、会員の技術力向上のための花壇研修会の開催や、会員間の情報交換、会員の取組の顕彰などをを行っております。これからも地域を美しく彩る「花の会」の活動を支援していきます。

※各地の「花の会」では、活動に参加していくだけの仲間を募集しています。ホームページあなたの街の花の会を御覧ください。

★問合せ先 静岡県環境政策課
★電話〇五四二二一八四九
★ホームページ
<http://www.greengbank.or.jp/volunteer/flower/hanashoai.html>

| | 第1回 | 第2回 |
|----|---|---|
| 日時 | 平成22年5月26日(水) | 平成22年5月27日(木) |
| 場所 | 富士市 | 浜松市 |
| 内容 | 午前 講演 「富士地区的オープンガーデンについて」「楽しゅうガーデニング」 午後 オープンガーデン見学(4軒) | 午前 講演 「オープンガーデンでも使える園芸の基礎知識」 ～主に病害虫防除など～ 午後 オープンガーデン見学(4軒) |
| 講師 | 井出英子さん(富士オープンガーデン代表) 斉藤勝江さん(グリーンアドバイザー) 酒井志朗氏(グリーンアドバイザー) | 勝又塩人氏(グリーンアドバイザー) |

静岡県では、今後も講座の開催を通してオープンガーデン活動を推進していきます。

平成22年度オープンガーデン講座を開催しました

県下で活躍する五十団体の「花の会」が加盟する静岡県花の会連合会は、会員の技術力向上のための花壇研修会の開催や、会員間の情報交換、会員の取組の顕彰などをを行っております。これからも地域を美しく彩る「花の会」の活動を支援していきます。

月26日(水)に富士市、5月27日(木)に浜松市においてオープ



オープンガーデン見学(浜松)



講演(浜松)



オープンガーデン見学(富士)



講演(富士)

全国育樹祭の大会テーマ（標語）、シンボルマーク、ポスター原画を募集中

平成24年秋に静岡県で開催する「第36回全国育樹祭」は、今年2月には会場が正式決定しました。

全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇

族殿下がお手入れされる「お

手入れ行事」は、平成11年に全

国植樹祭が行われた伊豆市の

「あまぎの森」で行い、皇族殿

下からお言葉をいただき、森

林・林業関係の表彰やメイン

テーマアトラクションなどを行

う「式典行事は、袋井市的小笠

山総合運動公園「エコバアリー

ナ」で行います。

お手入れ会場の「あまぎの森」

として、森林・林業関係団体や
関係行政機関で構成する「第36
回全国育樹祭開催準備協議会」
を立ち上げ、よい開催準備

が本格化しました。今年度は、同
協議会で企画内容等を検討し、
基本計画を策定していきます。

第一回協議会は、大会の開
催方針が協議されました。

静岡県ははじめ全国の森林

は、昭和20年代から盛んに植栽

されたスギ、ヒノキ等の人工林

が成熟期に入り、現在その多く

が木材資源として利用可能な

時期を迎えています。その一方
で、これらの資源を有効に活用

する森林・林業の担い手が不足

している状況にあります。

このことから、本県の全国育

樹祭の開催方針として、森林を
守り育てるとともに、「森林資源の
活用」とそのための「人づくり」を
重点を置いて「森林との共生」を

進めることの大切さを全国に発信することが承認されました。

また、全国育樹祭に向けた広報活動に使用する「大会テーマ

（標語）」「シンボルマーク」及び
「ポスター原画」の作品を9月

30日まで募集しています。募集

リーフレットは、県内の図書館

等の公共施設で配布することも

に、県のホームページにも掲載

しています。多くの皆様からの

応募をお待ちしております。

第36回全国育樹祭がよりよ

いものとなるよう、開催準備を

進めていきますので、今後とも

皆様方の御支援、御協力をよろ

しくお願いいたします。●

農業参入と耕作放棄地の活用

安全安心な食材の確保や事業

の多角化を目的に、農業に参入す

る企業が増えており、本県では約

30社が野菜等の栽培に取り組ん

でいます。

昨年度の農地法改正により、農

地貸借に係る規制が緩和され、企

業が一定の要件を満たした場合、

農地を借りて、農業経営ができる

ようになつたことから、農業に

参入する企業は更に増えるもの

と見込まれます。農地を購入する

ためには、農地法に規定される要

件を全て満たす法人農業生産法

人を設立する必要があります。

企業が農業に参入する場合の

課題は農地の確保ですが、食品加

工会社が耕作放棄地を借りて原

材料野菜を栽培するなど、耕作

放棄地を活用する例が増えてい

ます。この場合、借りた耕作放棄

地を復元して農業利用するため、

再生作業、土づくり、農業用施設

整備等に対して国の支援制度が

あります。また、県では再生作業

について市町と協調して助成を行っております。

造園業者が、業務用の花木・草

本類を自ら生産（肥培管理）を作

うこと）する場合、この生産を農

業経営として農業参入を認め

る可能性があります。新たに農産

物の生産を事業化する場合を含

め農地法等により条件が定めら

れておりますので、市町の農業委

員会又は最寄りの県農林事務所

にお問い合わせください。●



食品加工会の農園

静岡県経済産業部農業振興課
経営基盤課

054-222-12754

054-222-13298

愛鷹広域公園 ひとり一鉢運動の紹介

県東部地域を代表する野球場、多目的競技場を有して、スポーツの拠点である「愛鷹広域公園」は、自然に親しみながらクリエーションを楽しめるとい

者の皆さんに、ボランティア活動として園内に季節の花を植栽していただき、来園者と協働で公園を彩りあふれるものにしていこうというものです。

これからもこのひとり
動をはじめ、入念な手入れを
するなど、花が途切れることかな
うな、緑と花の憩いの場が提
供できるよう努力していきます。

環境省「公園 雑草管理マニフェスト」

環境省「公園・街路樹等病害虫 雑草管理マニュアル」改訂

しく参加していただき、数を重ねるごとに、次回が待ち遠しいという声が多く聞かれるようになつてきております。

が見られるようになりました。
他にも、10月には「子ども樹木博士認定活動」が開催されるなど、1年を通してさまざまな

イベントも用意しております。
みなさん、スポーツに、散策に
と、お気軽に愛鷹広域公園を御
利用ください！



スポーツでの来園者もひとり一鉢運動に参加

ての運動でも多くの来園者の皆さんに参加していただいた、すっかり愛鷹広域公園のイベントとして定着しました。植栽の記念に名前やメッセージをボットカルドに記入したり、花を贈ったりで記念撮影をしたりと楽し



人工芝がリニューアルされた野球場

公園・街路樹等の病害虫管理技術の実用化等の問題について、また、植物の緑地化等の問題について、主な内容は以下の通り。(目次)

ルは、公園・街路樹等の管理者向けに、総合的病害虫・雜草管理（IPM）の考え方を基本とし、それぞれの環境等に適したための参考情報を提供を行うものです。

環境省(水・大気環境局土木環境課)では、平成22年5月、「公園や街路樹等における農薬散布による健康被害を防止するため、「公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアル」を作成しました。この管理マニュアル

- 種・品種選定に当つての留意事項
- 病害虫の発生しにくい環境作りの工夫
- 剪定・施肥の工夫
- 主な病害虫等
- 病害虫等の確認及び防除の判断
- 物理的防除等
- 農薬防除

景観整備機構コーナー

会員の皆様の協力により活動も遅りなく実施できました。感謝申し上げます。

平成21年度に行った景観整備機構の活動内容は右記のとおりです。

【お知らせ】

○第1回静岡県景観講習会の開催

日時 平成22年8月27日(金)13:30~16:30

場所 島田市本通 島田市地域交流センター歩歩路(ぼほろ)多目的ホール

内容 基調講演 景観に配慮した屋外広告物の色彩・デザイン(筑波大学人間総合科学研究所准教授 山本早里氏)
事例発表 袋井市屋外広告物条例(袋井市都市計画課) 小田原市屋外広告物条例(小田原市まちづくり景観課)

申込 8月10日(火)までに協会へ

○第3回静岡県景観賞の審査

平成22年8月9日からスタートします。会長は審査員の一人として加わり、延べ6日間程度かけて調査、審査をし10月には今年度の「静岡県景観賞」が決定される見込みです。



望月敦彦会長



講演する稻葉建雄氏

「静岡県教育会館」において通常総会を開催しました。望月会長の挨拶、来賓の片桐利男(社)、静岡県造園緑化協会会长の祝辞に続いて議案の審議を行い、平成21年度事業報告書、収支計算書等及び平成22年度事業計画案、収支予算案は原案通り承認され、新たな年度がスタートしました。

今年度は、管理委託業務が主力となつて厳しい環境下にある

6月28日(月)、静岡市葵区の「静岡県教育会館」において通常総会を開催しました。望月会長の挨拶、来賓の片桐利男(社)、静岡県造園緑化協会会长の祝辞に続いて議案の審議を行い、平成21年度事業報告書、収支計算書等及び平成22年度事業計画案、収支予算案は原案通り承認され、新たな年度がスタートしました。

今年度は、管理委託業務が主力となつて厳しい環境下にある中であつて、技術者としての誇りを持ち一層研さんしていくことが大切であり、そのための研修、講習に関する事業は広く参加が得られるよう意義ある研修、講習会を開催していくこととした。

総会終了後は、「造園技術のステップアップ」をテーマに講演会を開催。講師にお願いした中央コンサルタンツ(株)理事の稻葉建雄氏は、庭園の歴史、美の歴史から今日の地域植生、野草

の美について熱く語り、造園業界は日本の美しい景観、環境創造の旗手として期待をしており、広い視野、豊かな知識高い誇りを持って先導して欲しいと期待を述べて終了しました。

技士会だより

総会開催 誇りを持つて一層の研さんを



建産連会長表彰



5月31日静岡市葵区内「静岡県産業経済会館」で開催された平成22年度(社)静岡県建設産業団体連合会通常総会の席上、担当業務に精勤し成績特に優秀で、技術の向上、緑化の普及、造園技術の啓発に努めるなど顕著な功績があつたとして会長から表彰を受けた。



お知らせ

公益社団法人への移行手続きのスケジュール

定款の変更案の作成から

第31回通常総会において、当協会は今後「公益社団法人」としての道を歩む方向性を決議しました。

現在、定款変更の案について協会役員との事前打ち合わせを終了し、静岡県へ事前相談の事務手続き中です。今後、理事会承認のうえ総会に上程することとなります。

皆様のご協力の上で進むことになりますのでよろしくお願ひいたします。申請にあたって必要な事務手続きのスケジュールは右表のとおりです。

| 区分 | 業 務 | 予 定 期 間 |
|--------|-------------------|------------|
| 認定申請関係 | 定款の見直し | H22.6月～7月末 |
| | 各種規約・規程等の検討 | ～9月末 |
| | 総会・理事会等の機関関係の検討 | ～9月末 |
| | 議事録他、内部資料の整備状況の検討 | ～9月末 |
| | 収支帳、公益目的事業割合の算定 | ～8月末 |
| | 移行認定申請書の作成 | ～H23.5月 |

事務所移転

これまでの協会事務所は、雨天のたびに水漏れがするということで、同じ興服町ビルの同じ階の中で、5月12日（水）に移転いたしました。移転日の前後数日にわたりて事務局が煩雑となり、皆様にも適切に対応できなかつたことと心よりお詫び申し上げます。

移転した新しい事務室は、契約面積は若干以前よりも少ないので、以前より広く、明るい雰囲気の事務室となりましたので、これまで以上に気軽に立ち寄りいただければ幸いです。

今後、会員の皆様のお役に立てますよう、業界の発展にむけ業務に励むとして参りますので、皆様のご指導とご協力をお願いします。

協会日誌

| 年 月 日 | 行 事 又 は 会 議 | 年 月 日 | 行 事 又 は 会 議 |
|-------|------------------------------|-------|-------------------------------|
| 平成22年 | | | |
| 1月 5日 | 新年挨拶回り | 5月13日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部主催体安衛セミナー講演会 |
| 1月 8日 | (社)静岡県建設産業団体連合会新年賀詞交歓会 | 5月18日 | (社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会 |
| 1月15日 | (社)静岡県造園緑化協会新年賀詞交歓会 | 5月24日 | 技術委員会 |
| 1月19日 | 浜名湖フラー＆ガーデンフェア2009実行委員会幹事会 | 5月24日 | (社)ゴルフ場協会30周年記念式典 |
| 2月 1日 | シニアアート造園緑化講習会(浜松会場)開講式 | 5月26日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部常任理事会 |
| 2月 3日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部臨時代議員会 | 5月31日 | (社)静岡県建設産業団体連合会通常総会・会長表彰式 |
| 2月 8日 | グリーン・リンク表彰式 | 6月 4日 | 静岡県さくらの会監査 |
| 2月10日 | 移行法人説明会(東部支部) | 6月 8日 | 「花・緑タウンフェアin静岡2011」第1回企画運営協議会 |
| 2月15日 | 移行法人説明会(西部支部) | 6月11日 | 啓発労働委員会 |
| 2月16日 | (社)静岡県緑化推進協議会理事会 | 6月15日 | (社)静岡県緑化推進協議会理事会 |
| 2月16日 | (社)静岡県緑化推進協議会総会 | 6月15日 | (社)静岡県緑化推進協議会総会 |
| 2月19日 | 移行法人説明会(中部支部) | 6月17日 | 静岡県さくらの会通常総会 |
| 2月23日 | 啓発労働委員会 | 6月18日 | 第1回ふじのくに花と緑の街づくり検討委員会 |
| 2月23日 | 総務企画委員会 | 6月18日 | 第1回ふじのくに花と緑の街づくり検討委員会幹事会 |
| 2月25日 | 第5回景観実務講習会(藤枝市) | 6月21日 | 静岡県森林・林業研究センター振興協議会幹事会 |
| 3月 1日 | 諸規程等検討委員会 | 6月21日 | 総務企画委員会 |
| 3月 4日 | 技術委員会 | 6月21日 | 支部長・会計担当者会議 |
| 3月 8日 | 浜名湖フラー＆ガーデンフェア2009実行委員会幹事会 | 6月22日 | 緑の安全推進協議会総会 |
| 3月10日 | 第3回役員会 | 6月24日 | 第2回役員会 |
| 3月12日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部常任幹事・役員会合同会議 | 6月25日 | 静岡県環境ビジネス協議会総会 |
| 3月17日 | 農業新技術研修集会 | 6月29日 | 技術委員会 |
| 3月18日 | 芝生シンボルarium | 7月 6日 | 第1回芝草検討委員会 |
| 3月26日 | 浜名湖フラー＆ガーデンフェア2009実行委員会 | 7月 7日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部現場安全研修会 |
| 4月 7日 | 平成21年度監査 | 7月 8日 | 静岡県森林・林業研究センター振興協議会総会 |
| 4月12日 | 第1回役員会 | 7月16日 | 建設業労働災害防止協会静岡県支部主催体安衛セミナー講演会 |
| 4月12日 | 新理事候補者打合せ会 | 7月27日 | 静岡県巨樹と森林文化の会総会 |
| 4月13日 | 静岡県都市緑化推進対策事業検査 | 7月30日 | 花・緑タウンフェア実行委員会第1回幹事会 |
| 4月28日 | (社)静岡県造園緑化協会第31回通常総会 | 8月 5日 | (社)静岡県建設産業団体連合会常任理事会 |
| 5月10日 | 美しいしづおか景観推進協議会総会 | 8月 9日 | 第3回静岡県景観審査委員会(書類審査) |
| 5月12日 | 事務所移転 | 8月10日 | (社)静岡県建設産業団体連合会事務局長会議 |

話題の森

スタートから5年目を迎えた森の力再生事業
整備により「森の力」は着実に回復しています。

静岡県交通基盤部森林局森林計画課

県では、平成18年4月から「森林(もり)づくり県民税」を導入し、この税により荒廃した森林を再生する「森の力再生事業」を実施しています。事業は造園業や森林組合の皆様の御協力によりほぼ順調に進んでおり、今年度末には6,100ha(全体計画の半分程度)の荒廃した森林の整備を終える予定です。

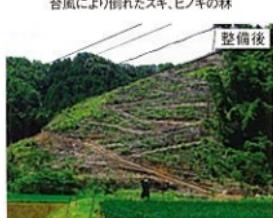
また、整備後の森林を調査した結果、草本・木本植物が発生し、林内を覆う植物の割合も増加するなど、「森の力」の回復の兆しが着実に現れていることがわかりました。

なお、森の力再生事業は来年度以降も継続する方向で、現在、事業のより効果的、効率的な進め方を検討しています。

人工林再生整備(強度の間伐)



人工林再生整備(風倒木処理)



竹林・広葉樹林等再生整備



平成22年8月1日発行

発行 社団法人 静岡県造園緑化協会 〒420-0031静岡市葵区呉服町2丁目2番地 呉服町ビル4F
TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 ホームページ <http://www.kenchikunavi.ne.jp/220304/> 編集 啓発労働委員会



(社)静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに
森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨て
られる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊か
な森林づくりをサポートしています。